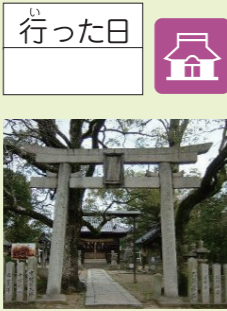


**おとしじんじや だいち**  
**大歳神社(大日)**

まつられているのは稚産靈神と倉稲魂神です。北条時頼が建て直し、その後、慶雲寺の守り神となりました。また、姫路城の鬼門ということで、池田輝政が信じ敬っていました。京都の方広寺の鐘をつくる仕事を指導した鑄物師・芥田五郎衛門が、支配役という役割で仕えた神社でもあります。

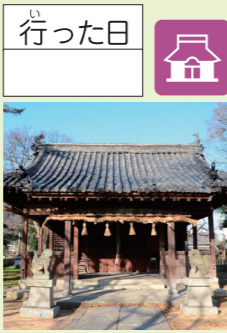


**おとしじんじや ほしろう**  
**大歳神社(保城)**

まつられているのは大年神です。山陽自動車道の増位山トンネル入り口の上にあります。保城の小字横手という場所の守り神です。右の鳥居、燈籠、手洗石など、江戸時代後半につくられたものがたくさん残っています。今の社殿は平成5年(1993)10月に建て直されたものです。

**かつまつじんじや**  
**勝松神社**

まつられているのは金山彦命です。この神社は、もとは赤松政則という大名が建てた勝松寺というお寺で、その守り神として、昔は弁財天さまをまつていました。しかし、1500年代の終わりごろに別所氏が攻めてきて焼けてしまいました。その後、勝松神社となりました。唐人図という絵や、干支や武者が描かれた絵馬がたくさん残っています。



**かわいすんのう あと**  
**河合寸翁「はぜ」の跡**

江戸時代の終わりごろ、河合寸翁は姫路藩の財政を良くするために、「はぜ」の木を市川の土手に植え、ろうをとってロウソクにして姫路藩が独占して売ろうとしていました。その名残の木で、秋には美しく紅葉します。



**さのげんざ えもん はか**  
**佐野源左衛門の墓**

佐野源左衛門は鎌倉時代の能という芸術の「鉢の木」という曲に出てくる人物です。最明寺の普請奉行(工事を管理する人)として力を尽くしました。その働きぶりをほめたために墓が建てられたといわれています。昭和4年(1929)につくられた姫路市の地図にもなっていて、明治時代の初めにはすでにあったといわれています。



調べたこと、  
わかったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

**みずかみちく**  
**11 水上地区**

せんばがわ おおひ 船場川 大樋

せんばがわ たか せぶね 船場川 高瀬舟

おとしじんじや ほしろう 大歳神社(保城)

かつまつじんじや 勝松神社

みずかみしょうがっこう 水上小学校

ほりんじ 法林寺

ひよしじんじや のぎときたのちよう 日吉神社(野里北野町)

かわいすんのう あと 河合寸翁「はぜ」の跡

だいにち じろう さいみょうじ 大日地蔵(最明寺)

おとしじんじや だいち 大歳神社(大日)

さのげんざ えもん はか 佐野源左衛門の墓

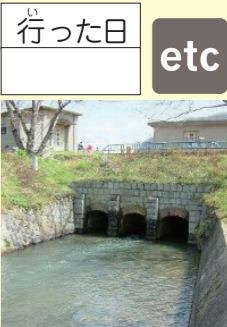
0m 500m 1km

せんばがわ たか せぶね にもつ 船場川は高瀬舟が荷物を運ぶために使われていて、町の人々の生活に欠かせない川でした。高瀬舟では何が運ばれていたのが調べてみましょう。



**せんばがわ おおひ**  
**船場川 大樋**

大昔の市川は、いくつにも分かれていて、今の船場川が本流といわれる一番大きな川でした。何度も洪水の被害がありましたが、江戸時代の初めには、今の市川が本流となりました。船場川の水は農業用水や姫路城の中堀や外堀にも利用され、市川から水を引く入り口として「樋門」がつけられました。



**せんばがわ たか せぶね**  
**船場川 高瀬舟**

姫路城の殿さま本多忠政が、市川の本流だった船場川を改修して、飾磨の港から今の市川町あたりまで、高瀬舟という船で荷物を運ぶ方法を開発しました。保城や西中島に船着場がつくれ、大樋にある倉庫には高瀬舟によく似た船が保存されています。



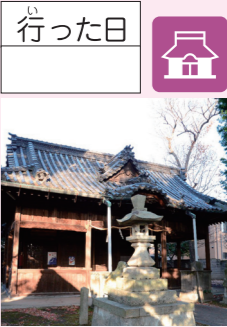
**だいにち じろう さいみょうじ**  
**大日地蔵(最明寺)**

法道仙人が開いたお寺で、鎌倉時代に北条時頼が建て直したため、時頼がお坊さんになったときの名前をとって「最明寺」といわれました。昔はとても大きなお寺でしたが、戦で焼けて今の姿となりました。市川の川原にあった処刑場で死んだ人をとむらうための供養塔やお地藏さまがあります。



**ひよしじんじや のぎときたのちよう**  
**日吉神社(野里北野町)**

まつられているのは大己貴命・大山昨命です。随願寺の守り神として、山王権現といわれました。1500年代の終わりごろに別所氏が攻めてきて焼けてしまいました。明治元年(1868)に「日吉神社」と名前を変えました。子どもたちを守る神さまとして、まわりの地域にもよく知られていました。



**ほりんじ**  
**法林寺**

無量山法林寺は、真宗大谷派のお寺です。了伝というお坊さんが開いたお寺で、建てられたのは享祿5年(1532)だという意見と、延宝2年(1674)だという意見があります。親鸞上人の教えを伝えるお寺で、阿彌陀如来立像がまつられています。

